

「安全で充実した沢活動実施のための指導者講習会」

1. 趣 旨

沢活動を実施する団体の指導者を対象として講習会を実施することで、安全に、そしてねらいが達成できる沢活動の実施をめざす。

2. 事業の概要

(1) 参加対象及び人数 沢活動を実施する団体の指導者 各回20名程度

(2) 期日および参加状況 原則として各団体3名までの参加としている。

回数	日程1	日程2	日程3	コース	男	女	参加者数
第1回	5月14日	土	午前	上流コース	12	9	21
第2回	5月14日	土	午後	下流コース	7	5	12
第3回	5月28日	土	午前	上流コース	7	14	21
第4回	5月28日	土	午後	下流コース	5	4	9
第5回	5月29日	日	午前	上流コース	1	1	2
第6回	5月29日	日	午後	下流コース	1	1	2
第7回	6月3日	金	午前	上流コース	6	6	12
第8回	6月11日	土	午前	上流コース	12	12	24
第9回	6月11日	土	午後	下流コース	9	12	21
第10回	6月12日	日	午前	上流コース	9	3	12
第11回	6月12日	日	午後	下流コース			
第12回	6月25日	土	午前	上流コース	4	6	10
第13回	6月26日	日	午前	下流コース	6	2	8
第14回	7月1日	金	午前	上流コース	6		6
第15回	7月1日	金	午後	下流コース	3		3
第16回	7月23日	土	午前	下流コース	7	3	10
第17回	7月24日	日	午前	上流コース	8	6	14
第18回	8月3日	水	午前	上流コース	8	5	13
第19回	8月3日	水	午後	下流コース	6	4	10
第20回	8月21日	日	午前	上流コース		2	2
第21回	8月21日	日	午後	下流コース	2	2	4
	合計				119	97	216

3. 企画運営のポイント

- (1) 安全で充実した沢活動実施のために、沢活動における安全への配慮や危険箇所、技術について、実際のコースをたどりながら説明する。また、自然の家で推進している体験学習法や沢での様々な活動について情報提供する。
- (2) 上流コースと下流コースに分け、当所の沢活動の全コースを網羅したプログラム展開になっている。
- (3) 指導者自身が参加者の立場になって楽しむことで、沢活動の楽しさを実感し、参加者に伝えられるようにする。

4. 日程

	午前の部	午後の部
・集合・受付開始・着替え	8：40～	13：00～
・沢活動（講習及び実地踏査）	9：00～12：30	13：30～16：00
・アンケート記入・資料配布	12：30	16：00

5. 主な活動内容



当日の動線を確認



安全装備の確認



実際のコースを体験



指導者自身も楽しむ

6. 成果と課題

(1) 参加者アンケート結果

満足：92% やや満足：8% やや不満：0% 不満：0%

(2) 参加者の声

- ・実際に沢登りをしながら、ポイントを丁寧に教えてくださったり、子どもに対しての沢でのアドバイス等も説明いただいたりして、とても分かりやすかったです。
- ・安全に沢活動を行う上で留意点を確認することができてよかったです。
- ・当日の活動計画を見直すのにとっても有効であった。子供の動きも考慮しつつ、再度計画を立て直したいと思っている。
- ・何度か参加させていただいていますが、地形や沢の周辺の環境も少しずつ変化していたので参考になりました。

(3) 成果

- ・参加人数が多い回は、2班に分け、さらに担当を1人増やしたことで、参加者の安全な活動に配慮することができた。
- ・荒天時の講習の際は、資料を使つての説明のほか、沢のポイントまで行き、参加者に可能な限り実際の沢の様子を見てもらうことで、指導のイメージを持たせることができた。

(4) 課題

- ・沢活動を行う際に、手袋がなかったり長袖を着用していなかったりするなど服装に不備があった団体や、活動後のライフジャケットやヘルメットの整頓が不十分だった団体があったので、安全への配慮と公共施設の利用についてのモラル等を、講習会において周知を徹底させたい。

担当：企画指導専門職 菊池 恵理